

平成29年度 園 評 価 ま と め (園長・副園長による園評価結果報告・改善計画)

びわこきららこども園

1 発達援助の基本

1～4

- 教育・保育課程は内容に改訂があれば、その都度、見直しを図るよう努めている。
- 一人一人の発達状況をパート職員と共有して行くことに課題がある。
- ケース会議は学年により十分な時間がとれてない。定期的に行う必要がある。

2 健康管理・食事

5～8

- 感染症やアレルギー、怪我の手当の仕方などについて園医・学校薬剤師等から研修を受ける機会を設けている。
- アレルギー疾患の子の対応についてはマニュアルを作成し、事故防止に努めている。配膳ミスや誤食がないようダブルチェックやマニュアルの徹底の必要を感じる。
- 食事は毎月給食会議を開き、献立の工夫や改善に取り組んでいる。子ども達で野菜を育て食すなど、食育も行っている。

3 環境

9・10

- 年々少しずつではあるが、環境が整ってきている。長時間、園で過ごす子ども達が多いのでゆったりと安心のできる場の確保が必要である。保育教諭の確保が課題である。

4 保育・教育の内容

13～12

- 子どもの発達に即した玩具やコーナーの設置の仕方を研究し、日々研鑽したい。
- 子ども達が自発的に活動できるためにはどうしていきべきか、研究していきたい。その中に、季節感ある素材も取り入れ織り込んでいきたい。

19～22

- 子どもの人権、子どもの権利条約、児童憲章などの理解を深めるための研修等に参加したり、園内研修をしたりしていく。

23

- 一人ひとりに合わせて、個人カリキュラムを組み、丁寧な保育を進めている。引き続き、保育教諭のスキルアップが必要。

24

- 延長保育時や早朝保育時の部屋は、くつろげる空間作りをしたり遊びを工夫したりして、日々、保育を進めている。

25

- 月に一度のケース会議で話し合う機会を設けている。課題としては援助が必要な子どもの個別指導計画を立てること。

5 子育て支援

26～29

- 個別面談は年間行事に入れ実施。記録や方法について統一が必要。学級での全体懇談会では懇談内容等を話し合い進めている。
- 子どもの園での様子をエピソードや写真で伝えるなど、子どもの見取りを子育て支援の視点で誠意を持って行えるように研修実践していく。
- 家庭児童相談室や児童相談所とのパイプは確認している。必要な情報は共有したい。

6 基本方針・組織運営

30～38

- 全体計画は作成しているが、30年度から実施の教育保育要領を反映したものは只今、作成中。30年度に備え、研修に取り組んでいる29年度である。
- 正規職員、パートタイマー等沢山の保育教諭の関わりがある中で、全教職員への周知、共通理解には課題が残る。各学級で連携を強化し、伝え合う態勢を構築しつつ、共通理解できる場を定期的に設けていきたい。
- 新しい園なので職員の研修ニーズは今後のこととし、まずは園の土台作りがニーズと捉えている。次年度はキャリアアップ研修に取り組みたい。

7 情報提供・意見の交換

39～45

- 玄関カウンターにパンフレットを置いたり、ポスターを掲示したりして情報提供を心がけている。
- ホームページでも園行事等、随時更新し、情報提供に努めている。
園児募集はホームページとポスターで行っている。
- 行事等において保護者アンケートを実施し、結果を報告。頂いた意見は参考にし、可能な範囲で次年度に反映させている。
- 意見箱も設置している。

8 安全・衛生管理

46～50

- 緊急時の対応は整備しているが、想定外の緊急事態もあり、不安は残る。みんなで弾力的に対応する力をつけるべく、研修を丁寧に行いたい。
- ヒヤリハットや事故報告書は、その都度、作成し、皆で確認し、今後に活かすよう努めている。
- マニュアルは有るが、まだまだマニュアル化ができていない項目もあるので、順次、マニュアル作りに取り組みたい。

以上